

農業技術センターニュース

2006年7月

岐阜県農業技術センター 岐阜市又丸729-1 TEL 058-239-3131
南濃試験地 海津市海津町平原1165 TEL 0584-53-0175
池田試験地 揖斐郡池田町般若畑631-11 TEL 0585-45-3837
<http://www.cc.rd.pref.gifu.jp/g-agri/index.html>

残留農薬簡易分析キットの実務研修会を開催

平成18年6月8日(木)および13日(火)に、当センターにおいて残留農薬簡易分析キットの実務研修が開催されました。

対象は、各地域農業改良普及センターの担当者の皆さんです。

簡易キットは、たくさんの検体について、農薬の残留の有無を素早く測ることが出来ます。



<簡易分析キット>



作物体から各種抽出を行います。



簡易キットで、農薬の残留濃度を測定します。

平成18年5月29日より、改正食品衛生法がスタートしました。これにより、農産物に対する農薬の規制が、ますます厳しくなりました(ポジティブリスト制度の導入)。農薬の使用基準を守ることに加え、隣接する周辺の圃場への農薬飛散(ドリフト)にも気をつけていかななくてはなりません。

当センターでは、農薬の飛散防止対策の確立と、農薬簡易分析キットを利用した生産物の出荷前検査に取り組んでいます。

農薬飛散(ドリフト)防止対策に取り組んでいます



大型防除機(スピードスプレーヤ)の農薬飛散を防ぐ方法を検討しています。



ネットの設置



飛散低減ノズルの利用



風量調節板の利用



噴霧圧力を抑えた散布

フランネルフラワー 鉢花 と 切り花の産地化

鉢花品種

草丈が低く鉢花向き
四季咲き性



鉢花用フランネルフラワー
「フェアリーホワイト」



平成17年品種登録出願した鉢花用フランネルフラワー「フェアリーホワイト」の試験栽培が岐阜市の2戸の農家で行われ、3,000鉢が出荷されました。市場評価も高く、本格生産に向け、周年出荷の研究や栽培法の改良に取り組んでいます。

切花品種

草丈が伸び切り花向き
一季咲き性



**オンリーワン
ナンバーワン品目です。**



今年から切り花の出荷も始まっています。土壌改良や仕立て方、品種改良などを研究しています。

バラの新品種育成



多様化する消費者ニーズや、生産者ニーズに的確に応えることができるバラの新品種開発に取り組んでいます。

育成した系統は、できるだけ早く実用化を図るため、特性を調べるための栽培試験を農業技術センターと農家が同時に、行っています。